第３回岐阜県職業能力開発施設運営改革検討会
国際たくみアカデミー部会議事要旨

１　開催日時及び場所
令和２年２月１９日（水）１０時００分～１１時２５分
国際たくみアカデミー短大校　会議室

２　出席者
中谷誠次座長、古田一衛委員、金森薫委員、渡辺善典委員、川島吉博委員、板頭芳樹委員、宮川勉委員、大江隆宗委員、渡辺春文委員、林博行委員、森崎泰行委員

３　事務局
商工労働部次長、労働雇用課労働企画係長、労働雇用課人材育成係長、国際たくみアカデミー校長、国際たくみアカデミー管理部長、国際たくみアカデミー指導部長兼生産技術科長、国際たくみアカデミー担当主幹兼教務・開発援助課長、国際たくみアカデミー建築科長、国際たくみアカデミー担当主幹兼訓練第一課長、国際たくみアカデミー訓練第二課長

４　会議の概要
・あいさつ
・資料説明
・意見交換

５　主な意見
〇訓練プログラムの充実について（キャリア教育の充実）
・社会人としての基礎的マナーを持つ人材を育成するカリキュラムについては、更に時間を増やすと良い。
・環境活動を意識した指導や教育（SDGs）に取り組むと良い。
〇訓練プログラムの充実について（在職者）
・IoT セミナーについては、美濃加茂商工会議所でも企業者向けに開催していることから、国際たくみアカデミー（以下「たくみ」という。）と連携して、美濃加茂市内の企業や加茂郡の町村に周知すると良い。
〇広報活動の強化について（女性向け・保護者向けの広報活動の強化）
・女性にとって、生産技術科は難しく見えるが、細かい作業は女性にも向

いていることから、女性が入学しやすくなるようアピールすると良い。

・親子しごと体験教室では、子供に同伴した親が近所でたくみをＰＲすることも期待できることから、できるだけ多くの方に参加していただけると良い。

〇広報活動の強化について（保護者（在留外国人）向けの広報活動の強化）

・日本は外国人の労働力に頼らなければ産業を維持できないが、外国人の多くは単純労働に従事しており、いかに技術職へと導くかが重要な課題である。美濃加茂市や可児市には外国人が多いことから、そこを意識すべきである。

・美濃加茂市地域振興課では、多くの外国人にＰＲする機会があることから、たくみが作成した外国人向けのパンフレットを配布する等、連携してやっていきたい。

〇その他（入校生の確保）

・普通科高校から新卒で入社しても育てるのに数年かかるが、たくみで学ぶことでより早く人材活用ができる。

・各企業は社員をたくみに入学させること、たくみは社員を受け入れる体制づくりを考えて欲しい。

〇その他（入学生（短大校専門課程を志望する留学生）の確保）

・県内に、外国人を雇用する企業は多いが、大半が安い労働力を提供する技能実習生である。企業側も、採用した外国人が路頭に迷うことのない体制をつくることが必要である。

（たくみを卒業する留学生は「技術」の在留資格で就職することになる。）

〇その他（アクションプランの効果測定）

・色々な取組をやったことで、良い結果が出ている。これからも良いところは伸ばし、悪いところは反省しながら継続すると良い。